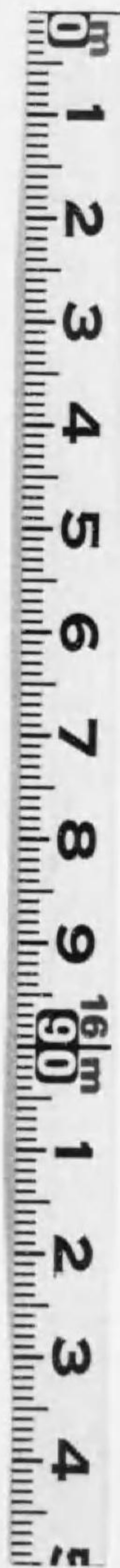


524

471

大正十五年七月

歐米賀易事情



始



大正十五年七月

歐米貿易事情

(大正十五年實第九號) (印刷ヲ以テ筆記ニ代フ)

商工省商務局貿易課

本書ハ貿易事情調査ノ爲歐米各國ニ出張
ヲ命セラレタル松居商工事務官ノ調査復
命ニ係ルモノナリ

目次

一 米國ニ於ケル貿易金融事情	一頁
二 米國ニ於ケル貿易調査機關	九
三 輸入組合ノ計畫ニ就テ	一八
四 英國ニ於ケル貿易金融事情	二〇
五 英國纖維加工業界ニ於ケル六大合同會社	二六
六 歐米ニ於ケル商取引事情	三二
七 英國ニ於ケル海外貿易法及商業助成法ノ變遷	三七

大正
15. 10. 5
内交

524-471

歐米貿易事情

一 米國ニ於ケル貿易金融事情

第一 貿易金融機關

(一) 歐洲戰前ノ狀態

米國ニ於ケル貿易金融機關ノ整備ハ極メテ近時ノ事ニ屬セリ由來米國ハ天然資源ノ豊富ヲ以テ商工業夙ニ殷賑ヲ呈シ而モ領域ノ老大ハ無限ノ需要力ヲ包藏セルヲ以テ國內ノ産業ハ主トシテ國內市場ヲ目的トシテ存立セリ。サレハ既往ニ於ケル米國ノ經濟組織ハ總テ所謂自給自足主義ニ立脚シ外國貿易ヲ重要視スル追ナカリキ是ヲ貿易ト密接ノ關係アル海運事業ニ就テ見ルモ歐洲戰前米國商船ノ總噸數ハ既ニ四百萬噸ヲ超エ世界各國中英、獨二國ニ亞ク地位ニ在リシニ不拘此等ノ船舶ハ殆國內運送ニノミ没頭シテ海外航路ニ進出スル餘力ナカリシ事實ニ徴スルモ其ノ一斑ヲ窺フニ足ラン

斯ノ如キカ故ニ貿易金融ノ如キモ亦當時米國ノ各銀行ハ之ヲ單ニ附帶業務ノ一トシテ營ミシニスキスシテ殆ト一般金融市場ヨリ閑却セラレ居タリ從テ當時ノ外國爲替業務ハ英國其他外國ノ專門銀行ノ手ニ掌握セララルル部分多カリキ

(二) 戰爭ノ刺激トエツテ法

然ルニ偶歐洲戰亂始マリテ莫大ナル物資ノ需要ヲ生シ歐洲以外ノ世界各國ノ産業ハ茲ニ異常ナル刺激ヲ受ケ特ニ經

濟力卓越セル米國ハ其ノ活況最著シク對外輸出ノ激增ニ依テ巨億ノ利得ヲ舉クルニ及ヒ米國民上下ヲ通シ外國貿易ノ決シテ輕視スヘカラサルノミナラス國力増進ノ一大要件タル所以ヲ覺醒スルヤ先ツ一九一六年船舶法ヲ制定シテ世界海運界ノ霸權掌握ヲ企テ次テ一九一八年輸出貿易法(所謂ウエツプ・ホマレン法)ヲ發布シテ貿易業者ニトラスト組織ヲ許可スル等舉國一致協力シテ貿易ノ助長獎勵ニ腐心スルニ至レル結果貿易金融問題亦世論ニ上リ遂ニ一九一九年ノエツチ法トナリテ現ハレ聯邦準備銀行法ニ改正ヲ加ヘテ貿易金融機關ノ設立ヲ慫慂シ之ニ長期資金融通ノ特典ヲ附與スルノ途ヲ開ケリ

エツチ法ハウエツプ・ホマレン法ト相互關連シテ以テ其ノ効果ヲ舉クルヲ目的トスルモノニシテ本法發布後先ツ最初ニ計畫セラレタル貿易銀行ハ The First Federal Banking Association ニシテ一九二〇年四月成立シ爾來續々其ノ設立ヲ見タリ

(三) エツゲ法ノ失敗

然ルニ其ノ成績ハ期待ニ反シテ殆ト見ルヘキモノナク此等新設機關ノ大多數ハ解散スルノ己ムナキニ至リ然ラサルモノモ業務微々不振ヲ極メ現在ニテハ一般ニ其ノ存在ヲスラ忘レ去ラレタリ斯ノ如キ不結果ヲ招クニ至リタル主因ハ全ク貿易業者カ此ノ新制度ヲ利用スルノ必要ヲ感セス又ハ事實上之ヲ利用シ能ハサリシニ在リ

即チ米國ニ於テハ貿易金融ニ關スル專門機關ナキモ是レ決シテ全然所要機關ヲ缺如セルニハ非スシテ普通銀行ハ時勢ノ要求ニ應シ其兼營セル貿易金融業務ニ大改善ヲ加フルコトヲ怠ラサリキ、之カタメ一般貿易業者ハ別段多大ノ不便ヲ感セサリシノミナラス永年ノ慣例ハ自然取引銀行トノ間ニ密接ナル關係ヲ生シエツチ法ニ依ル新銀行成立スルニ及ヒテモ之カ利用ヲ試ムル者尠カリシニ因ルナリ

他方エツチ法ハ外國市場ニ於ケル米國品需要者ニ長期金融ノ便宜ヲ得シムルコトヲ其ノ一大目的トセンモ外國商工業者カ之ニ依テ資金ヲ仰クニハ相當ノ擔保提出ノ義務アリ而カモ種々ノ制肘ヲ受クヘキヲ以テ進テ之ヲ利用スル者少ク是レ亦失敗ニ歸セリ

斯クシテ爾後再ヒ貿易金融改善ノ聲ヲ聽カス

(四) 現 況

上記ノ如キ次第ニテ米國ニテハ今日ト雖モ外國系銀行ヲ除キテハ一ノ專門機關ノ存スルナリ依然舊態ヲ保持シツツアルモ其ノ内容ニ至リテハ昔時ト同日ノ談ニアラス時勢ノ要求ハ各銀行ヲシテ之ニ順應スル施設ヲ行ハサルヲ得サラシメ今ヤ貿易ニ關スル金融ハ銀行業務中須要ナル位置ヲ占ムルニ至レリ

現在ニ於テハ相當ノ地步ヲ有スル米國銀行ニシテ外國爲替ヲ取扱ハサルモノ殆ト無シト雖モ其ノ中主要ナルモノヲ舉クレハ左ノ如シ

National City Bank.

Guaranty Trust Company.

International Banking Corporation.

First National Bank of Boston.

Anglo-South American Bank.

Standard Bank of South America.

上記米國銀行ノ外、外國系銀行ニシテ有力ナルモノ少カラス就中對日本貿易ニ於ケル橫濱正金銀行、對支貿易ニ於

ケル香上銀行 (Hongkong and Shanghai Banking Corporation) 對印度南洋貿易ニ於ケルチャータード及マーカー
ンタイトル兩銀行等ハ最モ著シ

尙由來米國銀行ハ支店ヲ開設セサル主義ヲ採レルカ故ニ外國ニ於ケル爲替事務ハ總テ代理店ニ之ヲ委任シ所謂コ
レスポネント關係ヲ以テ之ヲ處理シツツアリ

以下米國ニ於ケル外國爲替手形ノ實際上ノ取扱ニ就キ項ヲ分チテ記サン

第二 輸出代金決済ノ方法

輸出貨物ノ代金決済方法トシテ普通ニ行ハルモノハ所謂荷附爲替手形即チ俗ニ荷爲替ト稱セララルモノニシテ輸
出商ハ外國ノ輸入商宛ノ逆爲替手形ヲ振出し船荷證券ヲ擔保トシテ之ヲ銀行ニテ割引キ以テ豫メ代金ヲ受領スル方法
ナリ此方法ハ輸出商ニ於テ資金固定ノ不便ヲ免レ得ルカ故ニ全世界ヲ通シテ最モ廣ク行ハル

然レ共荷爲替ハ輸出商ノ側ヨリ見ルトキハ前借金ノ如キ性質ヲ有シ相手輸入商ノ信用、商品市價ノ變動、其他ニ原
因シテ後日紛糾ヲ生スル事アリ萬一手形力不拂トナレハ自ラ之ヲ辨濟セサルヘカラサル責任アリ且銀行ニ對シ相當ノ
利子ヲ支拂ハサルヘカラサルカ故ニ輸出商ニシテ資力充實セルニ於テハ相手方タル輸入商ヲ選擇シ無爲替ニテ積出シ
輸入商ヲシテ金融上ノ壓迫ヨリ來ル賣焦リヲ免レシメ最モ有利ナル方法ヲ以テ賣捌カシメタル後代金ヲ送金セシムル
方法ニ出ツルヲ最良トス

米國ニ於テモ素ヨリ荷爲替手形ニ依リ輸出ヲ營ム者多シト雖モ道ニ宇内ニ卓絶セル經濟力ヲ有セル丈ケニ大資力ヲ
包容セル輸出商甚タ多ク從テ無爲替輸出ノ盛ナル事世界中其比ヲ見スト稱セラル道ハ事情甚シク異レル他國ノ到底模
倣シ能ハサル所ナリト雖モ米國一流貿易業者カ銀行ノ庇護ニ依賴スル事ナク獨力進ンテ堂々ノ陣ヲ張リテ以テ冗費ヲ

節シ却テ銀行ヲシテ其旗下ニ膝ヲ屈セシムル程ノ勢力ヲ有セルニ至リテハ實ニ驚カサルヲ得ス

聞ク所ニ依レハ**フォード自動車會社**ノ如キハ一億數千萬弗、又**ドツヂ、フラザース會社**ノ如キモ數千萬弗ニ上ル現
金ヲ銀行ニ預托シ自力ヲ以テ克ク一ケ年分ノ製造品ヲ手持シテ餘リアリト云フ、本邦一流紡績會社中ニモ好況中一時
數千萬圓ノ銀行預金ヲ有セシモノアリト稱セラレシモ無爲替輸出ヲ勵行スル迄ニ至ラサル中近年ノ不況ニ會シ早クモ
稍難色アルニ比スレハ甚シキ差違ナリト云フヘシ

第三 輸出手形ノ形式及條件

(一) 手形ノ形式

米國ノ輸出手形ハ特別ノ場合ヲ除キ自國貨幣即チ弗ヲ以テ金額ヲ表示スルヲ原則トセリ是レ從來米國商人ハ國內取
引ヲ主トセシ爲外國トノ取引ニモ外國貨幣換算等ノ如キ手數ヲ好マス内國ト同様弗貨ニテ代金ヲ決済スル慣行ヲ生シ
タル結果ナルヘシト雖モ近年ノ事情ヨリ考察スル時ハ寧ロ弗貨ノ勢力換言スレハ米國經濟力ノ旺盛ヲ反映スル當然ノ
結果ナリトモ認ムルヲ得ヘシ蓋シ戰後世界列國貨幣ノ對外價値ハ殆何等ノ例外ナク著シク上下シテ安定ヲ缺ケル裡ニ
在リテ弗貨ノミハ獨リ能ク此ノ國外ニ立チ宛モ世界ノ標準貨幣タルノ地位ヲ保持セル結果國際計算ニ好ンテ使用サル
ルニ至リタレハナリ

米國ノ輸出手形ハ斯ノ如ク自國貨幣手形ナルカ故ニ所謂利付手形ノ形式ナルコト勿論ナリトス從テ亦米國輸出商ハ
爲替相場ノ變動ニ因ル危險ヲ負擔スルコトナク相手ノ輸入商カ全部之ヲ引受クルコトナル、這ハ米國ニ於ケル對外
爲替相場ノ建値カ悉ク支拂勘定即チ「弗」ニテ表示セラル事實ト相俟テ米國貿易商ニ計算上尠カラサル便宜ヲ與フル
モノト云フヘシ而テ又此ノ點ハ一般商工業者ヲシテ外國爲替ニ對シ特種ノ注意ヲ喚起セシメサル一原因トモ認ムルヲ

得ヘシ

(一) 利率

輸出手形ノ利率カ商品ノ種類、市場ノ狀況、仕向先其他ノ條件特ニ手形關係人信用ノ程度如何ニ依リ一定セサルコトハ米國モ本邦ト何等異ル所ナシ

然レ共大體ノ標準ハ年利六分ニアルモノノ如ク此ノ點ハ本邦ノ現行標準利率ト一致セリ

唯東洋向輸出手形ニ就テハ少シク一般ト其ノ趣ヲ異ニシ左記ノ主要十二銀行カ相協定シテ目下年利七分ヲ維持シツツアリ這ハ紐吉準備銀行公定率カ三分五厘ナルニ比スレハ甚シキ高利ナリト云フヘク現ニ協定外銀行ハ一分下ノ六分ヲ以テ應シツツアルモ從來ノ取引關係上協定銀行(主トシテ外國銀行)ノ地盤牢固トシテ抜クヘカラサルモノアルカ如シ(註 日本向輸出手形ノ協定率ハ其後大正十五年四月中旬ヨリ六分ニ引下ケラレタリト聞ク)

Hongkong and Shanghai Banking Corporation

International Banking Corporation.

Chartered Bank of India, Australia & China.

Yokohama Specie Bank.

Bank of Taiwan.

Sunmitomo Bank.

Bank of Chosen.

Mitsubishi Bank.

} Japanese Banks.

Heidelbach Eckelheimer & Co.,

Standard Bank of South America.

Bank of Montreal,

Ladenburg, Thalmann & Co.

(三) 期限

輸出手形ノ期限モ利率ト同シク一定スル所ナキモ大體一覽後三ヶ月ヲ以テ最長限度トシ東洋、南米向ノモノハ概シテ期限長ク反之歐米向ノモノハ短期ナルヲ常トス之レ金融市場發達程度ノ相違ヨリ來レルモノニシテ金融制度完備セル地方ニ於テハ長期信用ヲ必要トセサルニヨルナリ

此ノ點ニ關シテ注目スヘキハ米國ニ於テ長期貸付ノ性質ヲ有スル輸出ノ盛ナル事ナリ即チ米國ノ大規模生産品ノ輸出業者ハ其ノ生産品ヲ向フ一ケ年又ハ二ケ年ト云フカ如キ契約ヲ相手國輸入業者ト締結シ貸付ノ形式ヲ以テ無爲替ニテ輸出スルナリ、而シテ此ノ種ノ輸出ハ其ノ性質上大量需要品タル農産品、又ハ機械類若ハ建設材料品ニ行ハルルモノニシテ海外ニ於ケル米國品ノ顧客ハ其將來ニ於ケル支拂能力確實ナル限リ荷爲替ニ依ル普通ノ方法ニ比シ遙カニ長期ノ信用ヲ許容セラルル次第ナリ

(四) 信用狀

輸出荷爲替手形取組ニ際シテハ米國銀行ハ必ス輸入商ノ信用狀ヲ徵スルヲ原則トス、支那、南洋、印度等日本以外ノ東洋地方ニ於テハ概シテ信用制度未タ發達セサルカ故ニ此等地方ノ土商ト取引スル場合ニハ其ノ信用狀ヲ徵收スルコト能ハサルタメ米國輸出商ノ多クハ此等地方ニ自己ノ代表者又ハエゼントヲ設置スルカ故ニ何等問題ヲ生セサルモ

ノ如シ

斯ノ如ク原則トシテ信用狀ヲ徵シ又ハ之ヲ徵シ得サル場合ニハ輸出商ヨリ充分ノ擔保ヲ提供スルニ非レハ銀行ハ手形ノ取組ニ應セサルカ故ニ本邦ニ於テ見ルカ如キ手形金額ノ一部ヲ銀行ニ於テ一時保留スル所謂「マージン」ノ如キ問題ヲ生セス米國ノ當業者ハ斯ル場合ニハ相當ノ擔保ヲ銀行ニ提供スルコトヲ以テ寧ロ當然ト思惟セリト云フ

第四 爲替資金

我カ國ニ於テハ正金銀行ヲ第一トシ臺灣及朝鮮ノ三行ハ所謂爲替專門銀行トシテ特種ノ地位ニ在リ政府及日本銀行ノ授助ヲ受クルコト頗ル厚ク資金運用上種々ノ特典ヲ與ヘラレ居レリ然ルニ米國ニ於テハ「エツチ」法ヲ以テ長期資金獲得ノ特權ヲ與ヘシカ既記ノ如ク失敗ニ歸シ現今外國爲替業務ニ從事セル各銀行ハ何等特別ノ待遇モ援助モ受クルコトナク必要ニ應シ一般資金ト同シク手持ノ手形其ノ他ノ證券ヲ市場ニ賣却スルコトニ依リテ隨時爲替資金ヲ調達スルコトヲ得ルナリ、金融界ノ諸制度整備シ手形割引市場亦發達シ加フルニ資金横溢セル現狀ナルヲ以テ手形ノ如キハ最安全有利ナル放資物トシテ歡迎セラレ公定利率(目下三分半)ニテ容易ニ再割引シ得ラルルナリ

尤近來米國ハ紐育ヲ以テ倫敦ニ代ルヘキ世界金融ノ中心地タラシメントスル希望頗ル熾烈ナルモノアリテ紐育準備銀行ノ利率カ英蘭銀行ノ夫レヨリ常ニ幾分カノ低位ヲ保タレツツアルコトモ其ノ手段ノ一端ナリト思惟シ得ヘク之レト同様ノ意味ニ於テ聯邦準備銀行ハ輸出入手形ニ對シ公定歩合ヨリ更ニ四分ノ一%乃至二分ノ一%方ノ低利ヲ以テ其ノ再割引ニ應スル事ニ努メツツアルカ故ニ之ヲ以テ一種ノ特典ナリト見做シ得サルニモアラサルナリ

第五 生産金融

次ニ序手ナカラ貿易金融ト不可分ノ關係アル國內生産金融狀況ヲ一瞥スルニ元來資金豊富ナル米國ノコトトテ商工

業者ハ何レモ其ノ必要トスル各種ノ資金ヲ調達スルコト頗ル容易ニシテ何等ノ困難ヲ訴ヘサルモノノ如シ、唯其ノ利率ニ至リテハ地方ニ依リ、事業ニ依リ又調達者ノ信用ニ依リ差等アルヲ免レサルモ紐育市場ニテ一流ノ商業手形ハ四分内外ニテ割引シ得ヘク借入レ金、又五分乃至六分ノ利率ナリト云フ、工業資金ニ在リテハ長期固定ノ性質ヲ有シ商業資金ト稍其ノ趣ヲ異ニシテ幾分高利ナルハ勿論ニシテ一流工業會社ノ社債ノ利廻ハ通常五分内外ナリ、二、三流所ハ六分乃至七分見當ナルモノノ如ク、南部地方ニ於ケル地方銀行ノ個人棉花耕作業者ニ對スル融資ノ如キハ更ニ一段高ク一般ニ八分内外ナルヘシト認メラル

第六 結 論

以上之ヲ要スルニ米國ニ於テハ目下特種ノ貿易金融機關ナルモノ一モナク普通ノ商業銀行カ外國爲替其他貿易上ノ金融事業ヲ兼營シ又内外取引頗ル順調活潑且事業資金豊富ニシテ一般商人モ其ノ經營ニ著シキ困難ヲ覺ヘサル結果貿易金融ハ殆ント世人ノ視聽ヲ惹クニ足ラスシテ之ヲ自然ノ發達ニ委シテ顧サル狀態ナリ

而シテ米國ノ一般公定利率カ目下三分五厘ナルニ輸出手形ノ利率カ六分見當ノ高位ニアル如キハ本邦ニ於ケル現狀(日本銀行最低割引率年七分二厘ナルニ對シ輸出手形ノ標準率六分)ト全然正反對ニシテ大ニ奇異ノ感ナキ能ハス這ハ元ヨリ營利ヲ唯一ノ目的トスル私設銀行カ國內取引ニ比シ幾分カ危険多カルヘキ外國取引ニ面カモ何等ノ特典ヲモ享受セスシテ獨力放資スルコトヨリ生スル己ムヲ得サル現象ナリト認メラレサルニアラスト雖モ今後尙改善ノ餘地存スルコト疑ヲ容レサルナリ (大正十四年八月於紐育)

二 米國ニ於ケル貿易調查機關

米國ニ於ケル一般貿易調査ノ機關トシテ最重キヲナセルハ云フ迄モナク商務省ニ屬スル内外商務局ニシテ之ニ亞クハ米國商業會議所貿易部 (Foreign Commerce Department, Chamber of Commerce of The United States of America) ナルヘシ前者ニ就テハ先年既ニ貿易通報課ニ於テ「米國ニ於ケル貿易機關」ト題スル冊子ヲ印刷セルカ故ニ其ノ詳細ヲ茲ニ贅スル必要ナキモ其後若干變更ヲ見タル個所モアリ旁々後者ト共ニ簡單ニ其ノ近況ヲ記スコトトス

○内外商務局

(一) 分 課

内外商務局ノ事務ハ多岐多端ニ亘リ其ノ分課制度頗ル錯綜シテ同一階梯ニ屬スル部門ヲ或ハ課 (Division) ト呼ビ或ハオフィスト唱へ或ハ何等スノ如キ名稱ヲ附セサルモノアル等局外者ヲシテ其ノ分界又ハ系統ニ就キ統一の觀念ヲ得ルニ困難ヲ覺ヘシムルモノアルモ大體左ノ如ク全局ヲ四部 (實際ハ何等ノ名稱ヲモ附セサルモ便宜上假リニ茲ニ「部」ト稱ス) ニ分チ四名ノ副局長 (Assistant Director) 各之ヲ管掌シ其ノ下ニ幾多ノ分課ヲ配屬セシム

業 務 部

- 編 纂 課 (Editorial Division) コムマース・レポート其他總テ刊行物ニ關スル事務
- 計 畫 課 (Drafting Division) 外國駐在員ト全局トノ交渉事務ヲ總括ス
- ×外 國 課 (Foreign Service)
- 通 信 課 (Correspondence & Distribution Division)
- 內國地方事務所 (District Offices) 九 ヶ 所

內國共同事務所

(Cooperative Offices)

三十三ヶ所

外國地方部

- ラテン、アメリカ課 (Latin American Division)
- 西 歐 課 (Western European Division) 埃及以外ノ阿弗利加ヲモ含ム
- 極 東 課 (Far Eastern Division) レウアント以外ノ亞細亞全部及濠洲
- 東歐及レウアント課 (Eastern Europe & Levant Division) 埃及ヲ含ム
- ×商 業 年 鑑 課 (Commerce Year Book)
- 金融及投資課 (Finance & Investment Division)
- 調 査 課 (Research Division) 統計資料ノ整備、局内各種調査事務ノ總括等
- 外國關稅課 (Foreign Tariffs Division) 貿易統計ノ作製
- 統 計 課 (Statistical Division)
- 技 術 部
- 商 報 課 (Commercial Intelligence Division) 取引ノ紹介、商工人名錄ノ編纂等
- 運 輸 交 通 課 (Transportation & Communication Division) 荷造ニ關スル調査ヲ含ム

農具課以下商品別ニ依ル十六課

(註) 之ニ就テハ貿易通報課調査中ニ明記シアル故之ヲ省略ス、但シ石油課ハ昨年七月一日ヨリ「鑛物課」

(Minerals Division) 又靴課モ先年「靴及皮革製品課」(Shoe & Leather Manufactures Division) ト何レモ改稱サル

×臨時原料品調査課 (Raw Material Surveys)

(Nitrates, Tannine Extracts, Farm Products, Crude Rubber, 等ニ關スル基本的調査)

庶務部

商法課 (Commercial Laws Division)

外國法令ノ調査及取引紛争ノ解決

×會計課 (Accounts Office)

×用度課 (Supplies Office)

內國商業課 (Domestic Commerce Division)

(備考)

×印ハ「課」ト稱セサルモ便宜上茲ニ課ト竝稱セリ

在外商務官 (Commercial Attaches) 及貿易事務官 (Trade Commissioners) ハ其ノ在勤地ニ依リ前記外國地方部ノ各課ニ屬ス、商務官事務所ハ歐洲ニ十ヶ所、南北兩米ニ七ヶ所、亞細亞ニ二ヶ所、計十九ヶ所アリ又貿易事務官事務所ハ歐洲ニ五ヶ所、南米ニ一ヶ所、亞細亞ニ五ヶ所、阿弗利加ニ二ヶ所、計十三ヶ所アリ

因ニ商務官ハ商務卿ノ指定スル考試ニ合格シ國務卿之ヲ任命ス

(一) 規模 (經費)

一九二六年度ノ豫算書ニ依レハ内外商務局ノ總經費ハ二百九十一萬四千弗ニ上リ其ノ八割以上ハ俸給費ニシテ總人

員實ニ一千八百八十六名ノ多數ニ達セリ此ノ内商務官事務所及內國商業事務所ニ關スルモノ合計五十三萬一千弗、人員百八十二名ヲ除クモ尙二百三十八萬三千弗、人員一千四名ニ上リ其ノ規模ノ宏大ニシテ施設ノ完備セルコトヲ窺知シ得ヘシ

今參考ノ爲豫算書ノ要項ヲ左ニ摘記セン

費目	人員	金額
本局俸給(他項目ニ屬セサル)	一四二	二二六、四七七弗
商務官事務所		
俸給	九五	二二七、二六一
其他	一	三一五、八六一
內國地方事務所		
俸給	八七	一七四、二六八
其他	一	二一五、八一八
對歐洲其他貿易振興		
本局俸給	二四	五三、〇〇〇
外勤俸給	一四	二七九、三三五
其他	一	四三二、六〇〇
對兩米貿易振興		

本局俸給	四六	九九、〇八〇
外勤俸給	三五	一一六、四八五
其他計	一	二四八、〇四〇
對極東貿易振興		
本局俸給	五二	九五、七七一
外勤俸給	五八	一一二、九六三
其他計	一	二四三、七三四
支那貿易法實施		
本局俸給	三	一〇、〇六〇
外勤俸給	三	一二、六四五
其他計	一	三〇、〇〇〇
輸出工業調査		
本局俸給	二七一	五七五、四〇四
外勤俸給	一一	二一、八六七
其他計	一	六一八、〇五四
原料調査		
本局俸給	三〇	六八、五五〇

其他計

役員轉勤ニ關スル運輸費

貿易統計編纂

俸給 一七〇

外國購買者一覽(俸給、其他計)

原料護謄調査(同上)

外國ニ於ケル輸出入制限調査(同上)

總計(其他二、三ノ小項目ヲ合シテ)

(三) 業績

同局ノ事務ハ年々増加シ其活動頗ル目醒シキモノアリ其ノ業績ヲ一々詳述スルノ違ナキモ試ニ通信事務ニ就テ見ル
 一九二四年度(六月ニ終ル)中取扱ヒタル一般通信數ハ三十萬通ニ達シ外國電信ノミニテ五千七百通ヲ算シ當業者ノ
 照會ニ對スル應答數ハ實ニ百萬件(一日平均四百件弱)ヲ超ユル模様ナリ其ノ大體左ノ如シ

一般通信取扱數	約 三〇〇、〇〇〇件	一九二四年度	約 二五六、〇〇〇件	一九二三年度
照會ニ對スル應答	約 一、二三六、〇〇〇		約 九七二、七〇二	
外國通信				

電信 五、七五四

四、二〇〇

一般情報 六、六五五

—

當業者宛返信 九、三六三

—

其他計 二九、九二〇

—

配布セシ情報項數

二、二二七

一、一〇〇

配布情報總數

約 三、〇〇〇、〇〇〇

約 一、〇〇〇、〇〇〇

此ノ外無數ノ貴重ナル調査書、統計資料又ハダイレクトリー等ヲ完成公表セルコトハ言フ迄モナシ
特ニ同局カ取引ノ仲介、斡旋、信用ノ調査、紛争ノ仲裁解決等ノ事業ニ多大ノ努力ヲ傾倒セルコトハ注目ニ値スル所ナリ

先般同局カ當業者ノ照會ニ對シ回答セル事項中三千二百件ニ就キ調査セル所ニ依レハ右回答ニ依リ取引成立セル金額ハ一件平均四百二十七弗ニ當レル由ナルカ故ニ若シ一九二四年度ノ總回答數百二十三萬件カ同一ノ割合ノ成績ヲ得タルモノトセハ總額五億二千萬弗ニ上ル計算トナルヘシ這ハ幾分誇張ノ感ナキ能ハサルモ當業者カ同年度中同局ニ對シ支拂ヒタル諸料金ノ總計二百六十萬弗ヲ償ヒテ餘リアル收益ヲ得タルコトハ疑ナキ所ニシテ以テ其ノ業績ノ一斑ヲ知ルニ足ルヘシ

○全米國商業會議所外國貿易部

(一) 組織

米國商業會議所ハ全合衆國商工業ノ利益ヲ保護増進スルタメ一九一二年創立セラレタルモノニシテ數千人ノ議員ヲ有シ米國內外ノ商業會議所、商工業者、又ハ商工業者ノ團體等ヲ網羅スル一大聯盟ナリ

會議所ハ其ノ固有ノ事務ヲ執行スルタメ總務、議決、調査、編纂、外勤、地方(全國ヲ四區ニ分ツ)ノ九部ヲ設クル外尙特殊ノ問題ヲ考究解決スルタメ製造、外國貿易、保險、內國配給、交通、金融、政治、天然資源ノ八部ヲ置キ合計十七ノ部ヲ有セリ

右ノ中外國貿易部ハ部長一、副部長一、通譯兼調査係一、統計係一、統計係補助一及一般事務係二、合計七名ノ從事員ヨリ成リ部長及副部長ハ來訪者ニ接シ貿易ニ關スル各種會議ニ會議所ヲ代表シテ出席シ諸報告ヲ整ヘ諸政策ヲ考究シ外部トノ通信ヲ行フ等總テ部ノ中軸トナリテ活動シ其他ハ之レカ補佐役タリ

(二) 事業

同部ハ上記ノ如ク僅少ナル人員ニテ組織セララルニスキサルモ會議所ニ席ヲ有スル各種諸團體ハ勿論官廳特ニ商務省内外商務局ト常ニ接觸ヲ保チ之レカ利用ヲ怠ラサルカ故ニ其ノ業績決シテ輕視シ得サルモノアリ

事業ノ範圍ハ貿易振興ニ關スル總テノ問題ニ亘リ或ハ個人ヲ援助シ或ハ政策ヲ考究スル等頗ル廣汎ニシテ一々列舉スルヲ得サルモ過去ニ於テ關稅改正、在外米人課稅、支那貿易法、楊子江警備艦、船舶法二十八條等ノ重大問題ニ就キ悉ク相當ナル對策ヲ講シタル事實ニ徴スレハ主トシテ貿易政策ノ方面ニ努力シツツアルコト明ナリ

此ノ外常務トシテハ

- 一 會議所ノ定期年會ニ際シ貿易部會ヲ開催シテ諸問題ヲ討議スルコト
- 二 毎年一回「外國貿易手引」ト題シ貿易關係ノ諸項目ヲ研究スルニ必要ナル諸機關又ハ諸資料ノ利用方法ヲ摘録セ

ル冊子ヲ關係者ニ配布シテ參考ニ資スルコト

三 毎年四回「我が世界貿易」ト題シ米國對外貿易ノ大勢ヲ記述セル冊子ヲ配布スルコト

等ヲ主ナルモノトス

當部ハ亦貿易振興上必要ナル諸情報ヲ配付スルタメ「郵送名簿」ヲ備ヘ情報ノ内容ニ應シ夫レ夫レ關係者ニ之ヲ配送シツツアリ

尙當部ノ經費ニ就テハ公表セラレサルヲ以テ窺ヒ知ルコトヲ得サルモ其ノ執務狀態ヨリ推測スルニ依給費カ其ノ大部分ヲ占ムルモノノ如ク從テ總經費モ數萬弗ニ過キササルモノト思惟セラル (大正十四年八月於紐育)

三 輸入組合ノ計畫ニ就テ

米國ハ一九一八年四月輸出貿易法(所謂ウエツフ、ホマーレン法)ヲ公布シ排トラスト法ノ例外ヲ設ケテ輸出貿易振興ノタメニ輸出業者ノ合同ヲ策シテ以來相當ノ成績ヲ示セルモノノ如シ然ルニ數日前商務卿フーヴァー氏ノ輸入組合設立ニ關スル意見ナルモノ新聞紙ニ報セラルルニ至リタリ

當地チヤーナル・オブ・コンマース紙ノ記事ニ依レハ商務卿ハ米國ノ必要トスル食料品、又ハ原料品ニシテ其ノ供給カ外國ニ於ケル獨占的勢力ニ支配サルルモノ例ヘハ護謨、珈琲、硝石、加里、單寧、等ニ就キ之ニ對抗シテ米國商人及消費者ノ利益ヲ擁護スル見地ヨリシテ輸入業者ノ合同ヲ目論ミ之カ方法トシテハウエフ、ホマーレン法ヲ少シク改正スレハ足ルヘク次期議會ニ法案提出ノ意圖ヲ有スト

以上ハ單ニ新聞紙ノ報道ナルヲ以テ如何ナル程度迄眞實ナルヤハ素ヨリ不明ナルモ近時原料護謨ノ市價カ暴騰シ本

年八月一日ノ當地卸賣相場ヲ前年同日ニ比スルニ實ニ約四倍ニ當リ米國民一般カ英國ノ護謨輸出制限政策ニ對シ著シキ不滿ヲ感シツツアル事實カ政府當局者ヲシテ遂ニ斯ノ如キ腹案ヲ抱クニ至ラシメタル有力ナル原因ナリト認メラ

ル
而テ米國輸入原料品中砂糖ト共ニ首位ニ在リ且日本品カ其ノ大部分ヲ占ムル生絲ニ就キ何等言及スル所ナキハ甚幸ナリト雖モ是レ日本側ニ於テ供給上壓倒的優越地歩ヲ有セルニモ不拘其ノ勢力ヲ發揮シ得スシテ寧ロ却テ需要者タル米國側ノ勢力ニ依リテ支配セラルルコト多キタメ米國當局カ其ノ必要ナシト認メタルモノト解釋シ得ヘク偶本邦生絲業者カ同様ノ地位ニ在ル外國商人ニ比シ組織的商策ヲ缺キ其ノ無力ヲ表明セルモノト云フヘシ

兎ニ角資力豊富ニシテ財界安定セルコト世界ニ卓絶セル米國ニ於テスラ原料品ヲ一層有利ニ獲得センカタメ今ヤ輸入組合成立ノ機運漸ク醸成セラレツツアリ、勿論之ニ對スル反對論アリテ現ニ前記チヤーナル、オブ、コムマース紙ノ如キモ其ノ社説ニ於テ「却テ外國商ノ獨占的結束ヲ固カラシムルノミナラス内國市場ニ更ニ獨占的地歩ヲ有スル一階級ヲ構成スルコトトナリ消費者ノ利益ハ益々阻害セラルヘシ」トノ趣旨ヲ述ヘ居レルモウエツフ、ホマーレン法ノ前例ニ鑑ミ其ノ實現ハ可能性ニ富メルモノト云フヘシ

惟フニ原料品ノ大部分並ニ食料品ノ多量ヲ海外ヨリノ供給ニ仰カサルヘカラサル必要ニ迫ラレナカラ其買付ニ當リ當業者カ何等協調的態度ニ出テスシテ各個ニ買煽ル結果外商ニ乘セラレ徒ニ高値ヲ攫ミツツアルカ如キ事情ノ下ニ在ル我カ日本ニ於テコソ輸入組合ノ必要更ニ一層大ナルモノアルヘク少クモ輸入品ノ大宗タル棉花、木材、羊毛、砂糖、肥料、小麥、米等ノ數品種ニ就キ此ノ種ノ合同買付組織ノ行ハレントヲ布望セサルヲ得ス

本邦ニ於テ對外貿易振興ノ輿論盛ナルコト既ニ多年ニ及ヒ其ノ一部ハ實施ノ運ニ至リタリト雖モ滔々タル輸入超過

ノ逆勢ハ依然トシテ改マラス無二ノ輸出刺激材料ナリト稱セラルル爲替ノ下落ヲ以テシテモ尙多大ノ好果ヲ得難キニ願レハ此ノ上本邦ノ輸出力ヲ一段増加セシムルコトハ難事申ノ難事ナルヲ知ラサルヘカラス然ラハ輸入ヲ制限スヘキカ、輸入品ノ殆ト全部カ必要品ナルト且本邦ノ國勢トニ鑑ミ其ノ不可能ナルヲ奈如セン、既ニ輸出増進、輸入制限共ニ不可能ナリトセハ我カ貿易改善ノ策ハ唯出來得ル限リ入超金額ヲ輕減スルノ一途アルノミ

私見ヲ以テスルニ現在本邦當業者ノ賣崩シ及買焦リノタメ本邦全般トシテ無意味ニ失ヒツツアル額ハ總輸出額ノ三、四分以上ニ達スルモノト信セラル假ニ之ヲ三分トスル時ハ總輸出年額二十億圓トシテ六千萬圓、總輸入額二十五億圓トシテ七千五百萬圓、合計一億三千萬圓以上ヲ自殺的競争ノタメニ損亡シツツアルナリ故ニ近ク實施セラレントシツツアル輸出組合法ノ精神ヲ輸入貿易ニモ普及シ得ルモノトセハ貿易數量ニ何等増減ナクシテ一億圓以上入超額ヲ緩和シ得ルコトナルヘシ當業者ノ一致協同ノ效果甚大ナルモノアルヲ念フト共ニ貿易改善ノ最捷徑トシテ輸入組合又ハ之ニ類スル組織ノ實現ヲ切望スル所以ナリ (大正十四年九月於紐育)

四 英國ニ於ケル貿易金融事情

(一) 貿易金融機關

過去數世紀間ニ於ケル英國商工業ノ驚異的進歩ハ近代の金融機關タル銀行業ノ發達ヲ促シ英國ノ強大愈加ハリ全世界貿易ノ霸權ヲ掌握スルニ及ヒテ英國金融業者ノ本據タルロムバード街ハ實ニ英國領土内ノミナラス全世界金融市場ノ中心ヲ形成スルニ至レリ近年特ニ歐洲戰後世界金融市場トシテノ米國紐育ノ地位漸ク重キヲ成スニ至リタリト雖モ數百年來ノ地盤牢固タルモノアリテ倫敦ハ尙依然トシテ國際金融ノ中樞タル名ヲ失ハサルナリ

斯ノ如ク既ニ英國銀行ノ地位世界的ナル結果各銀行ニシテ外國爲替其他ノ國際金融業務ヲ營マサルモノ殆ト無シ而テ本邦ニ於ケル銀行ノ總數カ大小千數百ニ達スル實情ナルニ反シ英國ニ於テハ銀行ノ總數僅ニ五十二モ滿タス而カモ其ノ總取扱高ノ八割五分内外(所謂子銀行ノ取扱高ヲ加フル時ハ約九割ト觀測セラル)ハ所謂五大銀行ノ占ムル所ナルカ故ニ英國貿易金融ノ實權モ亦此ノ五大行ノ握ル所ナリト云フヲ得ヘシ五大行トハ左ノ如クニシテ各少キモ一千、多キハ二千ニ上ル支店ヲ有セリ

The Midland Bank.

Barclays Bank.

Lloyds Bank.

The National Provincial Bank.

The Westminster Bank.

右五大行ノ外英領各殖民地ニ在ル特種銀行ハ夫レ夫レ支店ヲ英本國主要地ニ設ケ其ノ勢力下ニ在ル地方ト本國トノ金融關係ヲ掌リ又多數ノ外國銀行モ同様ノ業務ヲ營ミツツアルコト言フ俟タス

(二) 東洋銀行協定

倫敦ニハ東洋關係ノ銀行業者ヨリ成ル一種ノ組合在リテ十數年來東洋向手形ノ利率、取立手形ノ手数料等ヲ相協定シツツアリ之ニ加入セルハ主唱者タルチャータート銀行ヲ始メトシ目下左記十七行ヲ算ス

The Chartered Bank of India, Australia & China.

The Hongkong & Shanghai Banking Corporation,

- The Mercantile Bank of India,
- Lloyds Bank,
- The National City Bank of New York,
- The Eastern Bank,
- The P. & O. Banking Corporation,
- Comptoir National d'Escompte de Paris
- The Yokohama Specie Bank
- The Mitsubishi Bank,
- The Bank of Taiwan,
- The Sumitomo Bank,
- The Mitsui Bank
- The Russo-Asiatic Bank,
- Banque Belge pour l'Etranger
- Imperial Bank of Persia
- The National Bank of India,

} Japanese Banks

(三) 輸出手形ノ諸條件

(イ) 利率 銀行カ輸出手形ヲ買取ルハ一種ノ手形割引ニ外ナラサルカ故ニ各場合ニ依リ利率ヲ異ニシ一定ノ標準ナ

キモ前記東洋銀行組合ノ如キハ東洋向(印度ヲ含ム)手形ノ利率ヲ年六分、日本向ハ年七分ト協定シ之ヲ實行シツツアリ日本向ハ震災前迄他ト同様六分ナリシカ震災後日本金融市場ノ狀況ニ鑑ミ遂ニ一分方引上ケラレ以テ今日ニ及ヘリ其他ニ在リテハ手形ノ性質及手形支拂地ノ金利如何ニ依リ米國向ハ四分五厘内外、歐洲向ハ五分乃至七分ナルモノノ如シ

(ロ) 期間 輸出手形ノ期間モ亦利率ト同様各場合ニ依リテ異リ一定セサルモ最長期ハ大體東洋向九十日米國向六十日ニシテ歐洲向ハ遙カニ短期ナルヲ常例トス

(ハ) 信用狀 總テ信用狀附テ原則トセル故我カ國ニ於テ東洋、南洋及印度方面向輸出手形ノ取組ニ際シ往々見ルカ如キマージンハ銀行ニ於テ之ヲ考慮スル必要ナク各種取引ハ輸出入業者相互間ニ於テモ又對銀行關係ニ於テモ確實ナル資力、信用ヲ基礎トシテ行ハレ從テ手形上ノ紛糾ヲ生スルコト極メテ稀ナリト云フ

日本ヲ除ケル東洋各地土人商人トノ直接取引ハ危險多キタメ事實上殆ト行ハレス何レモ其地方在留ノ英國商ヲ始メ其他ノ外國商ヲ相手トシテ取引ヲ行ヘル事ハ義ニ「米國ニ於ケル貿易金融事情」中ニ記セルト同シ。近來英國ノ小商人中外國ニ對シ盛ニ自己ノ宣傳ヲ行ヒテ取引擴張ヲ目論ム者多ク本邦商ニシテ之等ト取引ヲ開始スル者ヲ生シ往々五百磅又ハ三百磅ト云フカ如キ小額ノ信用狀ヲ送附スル者アリト雖モ之等ハ其ノ繁瑣ナルト危險性多キ等ノタメ取引上種々ノ困難アルモノノ如シ

(四) 貿易代金決済方法

貿易取引ノ代金決済ノタメ輸出入業者カ常用スル方法ハ荷附爲替手形即チ逆爲替ナレ共此ノ外送金手形即チ後拂ヒニ依ル方法モ屢々行ハルル事ハ既ニ米國ノ部ニ述ヘタル所ノ如シ

米國ニ於テハ資力ノ大ヲ以テ誇ル生産業者カ長期貸附ノ形式ヲ以テ無爲替輸出ヲ盛ニ行ヒツツアルモ英國ニ於テハ
 特種ノ事情アル場合ノ外斯カル貸付輸出ハ殆ト行ハレサル實情ナリ是レ舊慣ヲ尊重シ安全第一ヲ主義トシテ突飛ナル
 新規計畫ヲ好マサル保守的民心ノ反映ナリトモ認ムルコトヲ得レ共財界ノ實情米國ト著シク相違セルコトカ主タル原
 因ナルコトハ疑ヲ容レス、然レ共英國ニハ多年ノ地盤ヲ基礎トスル無爲替委託輸出即チ賣上後代金ヲ決濟スルノ方法
 相當盛ニ行ハレツツアルモノノ如シ

英國ニ於ケル特色ハ倫敦カ國際手形ノ交換所タル觀アル事是レナリ近時紐育亦世界金融市場ノ重要中心地タルニ至
 リタレ共這ハ大口貸借即チ證券關係ヲ主トセルモノニシテ一般商業手形ノ關係ニ於テハ尙英國ノ有セル勢力遙カニ米
 國ノ上位ニ在ルヲ認メサルヲ得ス實ニ歐洲大陸ヲ始メ阿弗利加、濠洲、東洋方面ニ於ケル國際取引代金ノ大部分ハ倫
 敦ニ於テ決濟セラルルモノナリ例ヲ日本ヨリノ對佛國輸出ニ採ルニ貨物ハ直接佛國ニ向ケ輸出セラルルモ手形ハ概ネ
 磅貨幣ニシテ且ツ豫メ交渉セル所ニ從ヒ之ヲ倫敦宛トシ信用狀ヲ發行セシ銀行ノ倫敦店ニテ之カ引受ケ（佛國ニ於ケ
 ル輸入業者ハ其取引銀行ヲ通シ倫敦宛資金ヲ送ルコト勿論ナリ）及支拂ヲ行フ場合多キカ如キ又例ヘハ英國ノ大陸向
 輸出ノ場合ニ於テモ英國商カ荷爲替ヲ振出ス代リニ大陸輸入商ヨリ倫敦銀行宛普通爲替手形ヲ振出シテ之ヲ英國輸出
 商ニ送付シテ決濟スルコト多キカ如キ是レナリ

斯ク英國ハ實ニ自國ノ貿易代金ノミナラス他國ノ貿易代金ヲモ自國ニ於テ決濟スルカ如キ金融上ノ勢力ヲ有シ而カ
 モ其ノ必然ノ結果トシテ此等英國拂ヒ手形ハ磅貨幣ニテ表示セラルルカ故ニ英國商ハ爲替上ノ危險ヲ負擔スル事稀ナ
 ルヲ普通トス尤モ戰時以來外國貨幣手形ノ量著シク増加シ來リシカ這ハ一時的現象タリシニ留マリ最近ハ再ヒ戰前ノ
 舊態ニ漸ク復歸セントスル傾向顯著ナリ只對米國輸出入手形特ニ輸入手形（英國ノ對米輸出ハ輸入ニ比シ極メテ少額）

ハ弗貨幣ニテ表示スルヲ原則トシ又極東向輸出手形ニ在リテモ相手國貨幣ニ據ル場合往々アルモ英國對外貿易ノ全般
 ヨリ觀ル時ハ極メテ少額ニスキサルナリ

(五) 爲 替 資 金

爲替資金ノ點ニ就テハ英國モ全ク米國同様ニシテ各銀行ハ必要ニ應シ一般資金ト共ニ市場利率（目下割引率年三分
 五厘乃至七厘五毛）ニテ隨時容易ニ調達シ得ルカ故ニ何等ノ困難ヲ覺ヘス且海外貿易法ニ基ク輸出信用制度ヲ除クノ
 外輸出爲替ニ就キ何等低利長期其他特別ノ融運ヲ行ハサルカ故ニ政府又ハ英蘭銀行ヨリ援助ヲ受クルコトナシ

(六) 輸出信用制度

戰後疲弊セル英國對外輸出貿易振興ノ一助トシテ一九一九年九月以來實施セル英國政府ノ輸出信用制度ハ爾後數次
 ノ改正ヲ經テ今尙存續セルモ當初ノ制度タル信用許與ニハ種々嚴重且繁瑣ナル資格ト手續トヲ要シ現制度タル手形保
 證ニモ種々ノ制限アリテ實際上回收不確實ナルモノハ容易ニ許可ヲ得難キト一流ノ大貿易商ハ其相手方モ亦信用確實
 ナル外國商ナルカ故ニ本制度ヲ利用スル必要ヲ感セサル等ノ理由ニ依リ其ノ成績期待セシ程大ナラス加フルニ戰後一
 時混亂セシ各國ノ信用組織モ近時漸ク秩序ヲ恢復シ來レルタメ現在ニ於テハ時々小商人間ニ之レカ利用ヲ試ムル者ア
 ルニ過キス是レ英國商人カ一般ニ確實ナル取引ヲ擇フ當然ノ結果ナリト云フコトヲ得ヘク本邦ノ現狀ニ鑑ミ多大ノ差
 違アルヲ覺エサルヲ得ス

(七) 生 産 金 融

本邦ニ於ケル銀行ハ普通貸出ヲ以テ營業ノ本體トシ之ニ要スル資金ヲ預金ニ求ムル結果預金利率高率ナリ然ルニ英
 國ニ於ケル銀行ハ手形割引ト證券放資トヲ以テ主業トシ之ニ要スル資金ハ自己ノ信用ヲ利用シテ廣ク市場ヨリ吸收シ

得ルカ故ニ預金ニ重キヲ置カス一般民モ亦銀行預金ヲ以テ單ニ一時的保護預托ト認メツツアルヲ以テ當座預金其他要求拂ヒ預金ハ無利子、定期預金ハ二分(郵便貯金亦現在年二分ナリ)ト云フ低利ニ在リ這ハ米國ニ於テモ略同様ニシテ一般金利ノ低キト投資熱ノ旺盛ナルヲ知ルニ足ルナリ

斯ノ如ク一般民ハ其ノ資産利殖ノ方法トシテ預金以外ノ證券類ヲ好ミ銀行亦常ニ遊資ノ大部分ヲ手形及證券ニ投資スルカ故ニ基礎確實ナル生産事業ハ社債ノ形式ニ依リ五分内外、二、三流者モ亦其信用ニ應シ五分五厘乃至六分五厘位ノ利率ニテ容易ニ所要資金ヲ調達シ得ルナリ (大正十四年九月於倫敦)

五 英國纖維加工業界ニ於ケル六大合同會社

英國ニ於ケル綿及毛製品ノ仕上業界ニ殆ト獨占の勢力ヲ振ヘル六大合同會社アリ曰ク

Bleachers' Association, (Manchester.)

Calico Printers' Association, (Manchester.)

Bradford Dye Works Association, (Bradford.)

British Cotton and Wool Dyers Association, (Bradford, Yorkshire, & Leeds.)

English Velvet and Cord Dyers Association, (Yorkshire.)

Yorkshire Indigo Scarlet and Colour Dyers, (Leeds.)

即チ是レニシテ何レモランカシャー地方ニ本據ヲ有セリ

右各アツソシエーションハ何レモ會社組織ニシテ數十ノ工場ヲ所有シ其ノ拂込資本金ノ總計ハ一千五百萬磅ニ達ス

ス

抑モ以上ノ各合同會社ハ往時多數ノ獨立セル工場ニ分レ居タリシカ價格ノ引下ケ等ニ依ル相互ノ競争甚シク何レモ其弊ニ堪エ兼ネテ殆ト立チ行カサル有様ナリシカハ千八百九十年代ヨリ漸ク一大團結ヲ形成スルノ可ナルヲ認メ相集リテ聯合會社ヲ創設シタル結果遂ニ今日ノ如キ隆盛ヲ呈スルニ至リシモノニシテ現在英國ニ於ケル各種商工業カ萎靡不振ノ境ヲ脱スル能ハサル時代ニ際シ克ク一割又ハ二割ト云フカ如キ高率ノ配當ヲ行ヒ巔然群ヲ抜クノ好業績ヲ示シツツアリ而シテ其ノ今日迄ノ歴史ハ波瀾ニ富ミ實ニ小企業家カ合同ニ依リ遂ニ成功ノ域ニ達スルヲ得タル好個ノ典型ト思惟サルルカ故ニ左ニ上記各社ニ就キ知り得タル所ヲ記サントス

フリーチャース、アツソシエーション

當社ノ起源ハ十九世紀末數十ノ工場相合シテ價格ノ協定ヲ目的トスル組合ヲマンチエスター市ニ設立シテ從來ノ弊ヲ革メタルニ始マレリ次テ一九〇〇年ニハ機運漸ク熟シ從來協定ニ加入セシ者ノ外新加入者ヲ合シ總計五十二ノ同業者相集リテ大合同ヲ完成シ以テ今日ノ基礎ヲ作レリ然レ共當初ノ成績ハ期待ノ如ク良好ナル能ハス當初六分ノ利益ヲ舉クル豫定ナリシニ實際ハ辛ウシテ三分ノ利益ヲ得ルニ留マル有様ナリシタメ經營頗困難ナリシモ克ク之ニ堪エ一九二一年ニハ加入者七十七ニ増加シ戰後ノ新況時代ニ乘シテ莫大ノ利純ヲ舉ケ現在拂込資本四百八十萬磅ヲ有シ配當ニ割ヲ降ラサル隆盛ヲ呈セリ

キヤリコ、プリンタース、アツソシエーション

當社ハ一八九九年當時全國斯業ノ八割五分ヲ占ムト稱セラレタル計四十六ノ捺染業者及十三ノ商店ヲ併合シ八百萬磅ノ資本ヲ以テマンチエスター市ニ創設サレ爾後更ニ十名ノ加入者アリテ今日ニ及ヘリ然ルニ當時當社ノ創立ニ參加

セサリシ同業者相集リテ更ニフエデレーション、オブ、キャリコ、プリンターズト稱スル別個ノ團體ヲ設立セシタメ
二者競争ノ姿トナリ當社ノ業績ハ不振ヲ極メ最初ノ十年間ハ僅ニ二分ノ配當ヲ行ヒ得タルニスキス幸ニシテ戰時以來
好況時代到來シ其後ノ業績著シク好轉シテ近年ハ一割以上ノ配當率ヲ維持シ得ルニ至レリ而テ當社ハ其ノ唯一ノ競争
者タル前記フエデレーショントノ合同ニ就キ屢交渉スル所アリシモ相互ノ利害容易ニ一致スルニ至ラス今尙重大ナル
懸案トシテ殘存セリ尙當社ハ不況時代ニ減資ヲ行ヒ現在ハ五百萬磅ノ拂込資本ヲ有ス

ブラッドフォード、ダイ、ウアークス、アツソシエーション

當社ハ一八九八年當時ブラッドフォード反物染色業界ノ約九割ニ當ル勢力ヲ有セシ二十二工場カ相合同セシニ始マ
リ其ノ後更ニ二十工場ヲ加ヘ一九〇七年ニハ晒業務ノ全部ヲ前記フリーチャース、アツソシエーションニ讓渡シウ
ル染色専門トナリテ遂次發展ヲ遂ケタリ而テ從來當社ニ加ハラサリシ業者中最大ノ三社、即チ Robert Clay and
Sons, Chendale, Stockport ヲ本年八月合併スルニ及ヒ遂ニ多年ノ覇業成リ完全ニブラッドフォード地方ニ於ケル斯
業ノ支配權ヲ掌握スルニ至レリ

斯クシテ當社ハ現在拂込資本三百八十萬磅ヲ有シ戰前ノ平均配當率六分ナリシモノ近年ニハ二割五分ヲ下ラサル有
様トナリ一九二二年ノ如キハ特別配當ヲ加ヘ三割五分ニ達セリ尙當社ノ一特色ハ常ニ新研究ニ多大ノ努力ヲ傾倒スル
コトニシテ現ニ先年人造絹絲ノ市場ニ出現スルヤ直ニ其ノ染色法ヲ研究シテ幾多ノ新考案ヲ出セリト云フ

フリチツシユ、コツトン、エンド、ウール、ダイヤース、アツソシエーション

當社モブラッドフォード社ト同シク一八九八年四十六個ノ工場ヲ併合シマンチエスター市ニ創立サレタルモノニシ
テ絲類ノ染色ヲ專業トセリ當社ハ當初ノ資本過多ニシテ經營困難ヲ極メシタメ一九二一年從來ノ百二十七萬磅ヲ一舉

三十一萬磅ニ切り下ケ其後更ニ七十七萬磅ニ増資シ爾來好業績ニ轉シ常ニ一割以上ノ配當ヲ維持シツツアリ

イングリツシユ、ウエルグエツト、エンド、コード、ダイヤース、アツソシエーション

當社ハ紐、天鵝絨、モール (Mortles) 等ノ染色ヲ業トスルモノニテ一八九九年十四工場ヲ合同セシニ創マリ其ノ後
更ニ十工場ヲ加ヘ現在六十五萬磅ノ拂込資本ヲ有シ一割以上ノ高配當ヲ保テリ當社モ亦フリチツシユ社ト同シク一時
資本過剰ニ悩マサレタル結果先年二十八萬磅ノ減資ヲ斷行セリ

ヨークシア、インデイゴ、スカーレット、エンド、カラー、ダイヤース

當社ハ元來英國陸海軍其他ノ制服用ニ必要ナル華麗ナル染色ヲ目的トスルモノニシテ一八九九年、十一工場ヲ合シ
テ創立サレタリシカ其ノ後軍服ノ制式改正サレカーキ色地カ主トシテ使用サルルニ至リシ結果甚大ナル打撃ヲ蒙リ一
九〇七年ニ及ヒ從前ノ資本額三十一萬磅ヲ新ニ七萬七千磅ト約四分ノ三ノ減資ヲ斷行セリ然レ共戰後活況時期ヲ迎ヘ
テ稍業態ヲ挽回シ再ヒ十一萬六千磅ニ増資シテ今日ニ及ヘルモ他ノ五社ニ比シ成績著シク劣レルハ已ムヲ得サル所ナ
リ

試ミニ戰前及最近數年間ニ於ケル各社ノ配當率ヲ示セハ左表ノ如シ

フリーチャース、アツソシエーション

一九一四年(三月末ニ終ル事業年度)	六分
一九一九年	一〇
一九二〇年	二〇
一九二一年	一〇

一九二二年	一一・五
一九二三年	二〇
一九二四年	二〇
一九二五年	二〇

キヤリコ、プリンタース、アツソシエーション

一九一四年(六月末ニ終ル一年度)	五分
一九一九年	五分
一九二〇年	一〇
一九二一年	五
一九二二年	七・五
一九二三年	一二・五
一九二四年	一〇
一九二五年	一五

ブラッドフォード、ダイ、ウアークス、アツソシエーション

一九一三年(十二月ニ終ル一年度)	七分
一九一八年	一七・五
一九一九年	二二・五

一九二〇年	二〇
一九二一年	一〇
一九二二年	三五
一九二三年	二五
一九二四年	二五
一九二五年	二五

ブリチツシュ、コットン、エンド、ウール、ダイヤース、アツソシエーション

一九一四年(三月末ニ終ル一年度)	五分
一九一九年ヨリ一九二二年マテ	各一〇
一九二三年	一五
一九二四年	一〇
一九二五年	一〇

イングリツシュ、ヴェルウエット、エンド、コード、ダイヤース、アツソシエーション

一九一三年(六月末ニ終ル一年度)	七分
一九一八年	一五
一九一九年	一二・五
一九二〇年	一〇

一九二一年	八
一九二二年	八
一九二三年	一〇
一九二四年	一〇
一九二五年	四(中間配當)
ヨークシア、インディゴ、スカーレット、エンド、カラー、ダイヤース	
一九一三年(十二月末ニ終ル一年度)	五分
一九一八年	一〇
一九一九年	二〇
一九二〇年	一五
一九二一年	五
一九二二年	七・五
一九二三年	七・五
一九二四年	五

(大正十四年十月於倫敦)

六 歐米ニ於ケル商取引事情

(一) 商人

歐米各國ノ貿易商ハ一品專業主義ヲ原則トシ多種多樣ノ商品ヲ取扱フ者ハ極メテ稀ナリトス是レ内外市場廣汎ニシテ荷動キ數量多キタメ專門商品ノミノ取扱ニ依テ經營シ得ラルル結果自然分業制度發達シタルモノナルヘシト雖モ日本ニ於ケル貿易商ノ大多數カ隨時隨所ニ多種類ノ商品ヲ賣買シ殆ト一定ノ專業的商品ト目スヘキモノヲ有セサルニ較フレハ彼我兩者ノ差異大ナルモノアルヲ知ルナリ

歐米商人ハ斯ノ如ク一品專業主義ヲ採用セルタメ勢ヒ自己ノ仕事ニ對スル造稽頗ル深シ唯其缺點トスル所ハ多類商品ヲ取扱フ場合ノ如ク危險ヲ分散シ能ハサルコトナリ然レ共危險ニ對シテハ常ニ適當ノ手段ヲ忘レサル故却テ失敗少シト稱セラレ特ニ安全確實ヲ唯一ノ目標トセル英國商人ノ如キハ極力危險多キ取引ヲ避クル風アリト云フ。商取引カ右ノ如ク專業的トナルト同時ニ之レニ從事スル人々モ總テ若年時代ヨリ其ノ專業ニ没頭シ一生ヲ通シテ是レニ終始スルヲ常例トス這ハ敢テ商人ノミニ限ラス技術家、官吏等ニ至ル迄學校教育ノ有無ニ關セス最初ハ總テ最下ノ階級ニ一度身ヲ置キ熟練スルニ從ヒ順次上級ニ進メラルルモノニシテ純然タル徒弟養成主義ナリト稱スヘシ此ノ風習ハ萬事保守的ニシテ且實驗ヲ尊フ英國ニ於テ最顯著ニシテ今尙封建時代其儘ノ制度ヲ踏襲シツツアリト云フモ敢テ過言ニ非サルナリ一面ヨリ見レハ這ハ自國語及自國ノ慣習ヲ以テ全世界トノ商取引ニ臨ミ得ヘク何等外國語其他特種ノ教育ヲ必要トセサル英國ニシテ初メテ爲シ得ル所ニシテ他國ノ企及シ難キ點ナリ而テ會社商店等ニ勤務スル商業用人ハ何レモ最低俸給ヲ保證セラレ之レニ仕事ノ出來高ニ對スル歩合給ヲ加ヘタルモノヲ以テ其ノ收入トセリ故ニ多年ノ熟練ト相俟テ一層ノ効果ヲ擧ゲ得ルモノノ如シ

(二) 米國ノ旅商

米國內ニ於ケル商取引ノ一特色ハ旅商即チトラウエリング、セールスマンノ活躍盛ナルコトナリトス這ハ(一)老大ナル領土ヲ有スルタメ販路擴張ノ餘地廣キコト(二)米國民カ一般ニ繁忙ナル日常生活ヲ營ミツツアルタメ之レカ需要ヲ喚起スルニハ可成的積極販賣政策ヲ必要トスルコト(三)米國ハ一般ニ尙物價高ク特ニ小賣商人ノ如キハ平均五割ノ口錢ヲ收得ストサヘ稱セラルル位ニシテ他國ニ比シ商人カ利益ヲ得ル機會多ク旅商ノ費用ノ如キハ優ニ補償セラレ得ルコト等ノ諸原因ニ依リ自然ニ發達シ來リタルモノナルヘク米國ニ於テ各種ノ廣告宣傳ニ年々巨億ノ金額ヲ費消シツツアルト全然同一轍ナリト認ムルヲ得ヘシ故ニ貿易業者特ニ雜貨取引ニ從事セル者モ亦盛ニ旅商ヲ使用シテ顧客ノ吸收ニ努メツツアリ

全米國旅商ノ數ハ數萬ニ達シ何レモ最低俸給ヲ保證セラルル外賣上高ニ對スル一定歩合ノ報酬ヲ得ルモノトス而テ此等同業者ハ各市ニ組合ヲ設ケ各組合ハ相連揚シテ更ニ聯合組合ヲ置キ毎年一回又ハ二回全國旅商大會ヲ開催シ各地方ノ代表者一堂ニ會シテ共同利益ノ保護増進ニ努力シツツアリ本年八月モ紐育ペンシルバニア、ホテルニ開催セラレ主トシテ論議セラレタル點ハ乘車賃金及携帶見本ノ特別取扱等ニ關スル問題ナリキ

(三) 英國ノ共同並ニ一手販賣制度

英國商品ノ取引上見通シ得サルハ共同販賣制度及一手販賣制度ナリトス此ノ兩者ハ英國全部ニ亘リ普ク各種商品ニ就キ殆ト例外ヲ見サル迄ニ發達シ其ノ勢力ノ著シキハ對英貿易ヲ營ム者ノ常ニ痛感スル所ナリ共同販賣ノ組織トシテ最も普通ニ採用セラルル方法ハ同業者ノ共同出資ニ依リ獨立セル別個ノ會社ヲ設立シ之レニ各同業者ノ有セル販路ノ一部又ハ全部ヲ托スルニ在リ即チ例ヘハ葉鐵ノ製造中心地タルサウス、ウエルズニハサウス、ウエルズ、ティン、ブレート、コーボレーションアリテ全產額ノ約六割ヲ占ムル製品ノ販路ヲ掌握セルカ如キ又東洋向薄鐵板ニハオリエン

タル、ステイール、コムバニニアリテ專之ヲ取扱ヘルカ如キ是ナリトス、此等共同販賣會社中ノ或モノハ獨占的勢力ヲ有シ意ノ儘ニ販賣條件ヲ定メ得ヘク需要者個々ノ力ヲ以テシテハ所詮之ニ對抗シ難キヤ勿論ナリ

次ニ一手販賣ノ制度ハ言フ迄モナク一定ノ市場又ハ一定ノ商標ヲ附セル商品ニ付キ特定セル唯一ノ取引店ヲシテ販賣權ヲ獨占セシムル方法ニシテ之レニ依リ同一商品ノ競争ヲ避ケ生産者ト販賣權者トノ利害ヲ一致セシメ永年ニ亘リ努力奮闘シテ確實ナル販路ヲ保持スルコトヲ得ルナリ近年商取引カ一般ニ不況ヲ極ムルニ至ルヤ英國生産業者中一手販賣店ノ獨占的利得ヲ節約スルヲ可ナリト思惟シ一時此ノ販賣政策ヲ中止シ自ら直接販賣ヲ企ツル者簇出スル傾向アリシカ多クハ失敗ニ歸シ一手販賣制度ノ基礎益鞏固タラントスルモノアルニ似タリ

(四) 歐米商人ノ商業道德

多年ノ慣行ヲ尊重スル英國人ノ氣風ハ商取引上ニモ良ク現ハレ各個ノ商品ニ就キ夫レ夫レ特別ノ商慣習アリテ契約書ノ形式字句ニ至ル迄殆ト一定シ商人間ノ權利義務觀念亦頗ル堅キカ故ニ確立セル慣習ニ從ヒ取引ヲ行フ限り後日紛糾ヲ生スルカ如キコト極メテ稀ナリト稱セラル

然レ共其ノ反面ニ於テハ餘リニ形式ニ因ハレ假令厘毫ノ差異ト雖モ契約條件ヲ楯ニ取リテ苟クモ假藉スル所ナク所謂「融通ノ効カヌ」コト著シ例ヘハ商品ノ瑕疵ニ對スル買手ノ異議通告期間ヲ契約ニ定メタル場合ニ於テ買手カ己ムヲ得サル事由ニ依リ期間經過ノ翌日ニ異議ヲ申出ツルコトアリトセンカ賣手ハ之ヲ峻拒シテ全ク顧サルヲ常トスヘク之ヲ以テ一般ニ何等商業道德ノ觀念ニ抵觸スルコトナシト信セルモノノ如シサレハ英國人相手ノ取引ハ極メテ安全ナルト同時ニ又頗ル形式的ニ窮屈ナル所多キヲ見ルナリ

反之米國ニ在リテハ建國新ラシク且新規ヲ好ム國民性ヨリシテ英國ノ如キ不文ノ慣習法存在セサルタメ契約條項ニ

據ル權利義務ノ如キモ成ルヘク自己ノ有利ナル方ニ解決セントスル傾向アリ從テ商取引毎ニ各場合ニ應シ常ニ細心周到ナル注意ヲ以テ契約ヲ締結セサルニ於テハ後日意外ナル問題ニ逢着スルコト往々ニシテ生スト云フ
更ニ佛、獨其他ノ諸洲諸國ニ至リテハ右英、米兩國ノ中間ニ位スルモノト概言スルヲ得ヘク特ニラテン人種ハ由來理想主義的性格ヲ有シ實際ヲ基礎トスル商取引ニハ概シテ適當ナラストノ世評サヘ有ル程ナレハ之レトノ取引ハ自ラ別種ノ注意ヲ必要トスルモノノ如シ

(五) 近時取引ノ特色

近年ニ於ケル商取引ノ一特色トシテ注目ニ値スルハ商品ノ市價カ原產地ニ高ク需要地ニ低キヲ常例トスルコト是レナリ詳言スレハ原產地ノ市價ニ需要地到着迄ニ要スル運賃其他ノ諸掛リヲ加ヘタル價格カ常ニ需要地ノ相場ヲ超過スルナリ這ハ本邦ニ於テモ内外取引ニ於テ多年經驗セル事實ナルカ今ヤ殆ト世界全般ニ亘リ此ノ現象ヲ以テ市況ノ通則トスルニ至レリ

此ノ如キ所謂「產地高」ノ現象ハ(一)通信機關發達シ各市場ノ狀況ヲ直ニ詳細知悉シ得ルカ故ニ原產地ニ在ル生産業者ハ其ノ入手スル商況中自己側ニ有利ナル材料ニ執着シ易ク從テ強氣構ヘノ高値ヲ唱フル傾向アルコト(二)仲繼商人數漸次増加セルニ不拘原產地生産數量ハ割合ニ増加シ難キ事情アルタメ買手側ニ競争起リ一部思惑者ノ買進ミ等カ市價ヲ騰貴セシムル傾向アルコト等カ其ノ主タル原因ナルヘキモ兎ニ角之レカタメ營利賣買ノ二大要件タル(一)需給兩地間ニ於ケル價格ノ差異又ハ(二)時間ノ經過ニ因ル價格ノ差異ノ兩者中容易ニシテ且安全ナル前者ハ次第ニ衰ヘ來リ困難ニシテ危險多キ後者ノミカ益盛ナラントシツツアリ即チ價格低キ場所ニ仕入レテ高キ場所ニ賣放スコトハ今ヤ殆ト不可能ニ近ク唯思惑ニ依ル買付又ハ空賣ヲ試ムルノ外收利ノ途ナキ状態トナリタルナリ從テ取引ハ漸ク投機の性

質ヲ帶フルニ至レリ而テ此ノ現象ハ日本商人ノ關係スル方面ニ於テ特ニ顯著ナルモノアルカ如ク思惟セラル

(大正十四年十二月於巴里)

七 英國ニ於ケル海外貿易法及商業助成法ノ變遷

英國ニ於ケル海外貿易法(所謂輸出信用制度ト稱セララルモノ)及商業助成法ノ名ハ夙ニ周知セラレ舊農商務省商務局ニ於テモ先年之ニ關スル調査ヲ行ヒ各小冊子トシテ上梓セラレタルモノアルカ故ニ其ノ詳細ニ就テハ茲ニ贅言スルノ必要ヲ認メスト雖モ此ノ兩制度ハ其内容相類似セルノミナラス相互密接ノ關係アリ且頻々トシテ改正セラレタルタメ動モスレハ二者混同セラレ又ハ既ニ廢止セラレタル舊制度ヲ依然現行制度トシテ誤認セララルル傾向アルカ故ニ茲ニ其ノ變遷ノ概略ヲ記シ併テ現在法ノ要點ヲ示サント欲ス

(甲) 海外貿易法

(一) 英國商工業存立ノ基礎ヲ成セル輸出貿易カ歐洲大戰以來著シキ不振ヲ呈セルニ鑑ミ之レカ振興ノ一方法トシテ同國政府カ輸出信用制度創始ノ計畫ヲ初メテ發表セシハ一九一九年九月四日ノ事ニシテ同月九日ヨリ直ニ之ヲ實施セリ其ノ綱要左ノ如シ

- 1 商務省内ニ輸出信用局 (Export Credit Department) ヲ新設シテ本制度ノ運用ヲ掌ラシムルコト
- 2 政府カ附與シ得ル信用ノ總額ハ二千六百萬磅ヲ限度トスルコト
- 3 信用ノ附與ハ輸出爲替手形ニ對スル前貸ノ形式ニ依リ之ヲ行フ
- 4 貸付ノ限度ハ運賃及保險料込ミ價額(所謂 c.i.f 價格)ノ八割迄トス

- 5 輸出先ハ歐洲新興國並ニ戰爭ニ依リ疲弊セルバルカン地方ニ限レルコト
- 6 貸付ニハ相當ノ擔保ヲ徵ス

(二) 右ハ單ニ行政施設ノ一トシテ便宜實施セシ所ナルカ翌一九二〇年八月九日ニ至リ海外貿易(信用及保險)法 (Overseas Trade (Credit and Insurance) Act, 1920) ナ公布シ正式ニ輸出信用ニ關スル權限ヲ政府ニ與フルニ至レリ其ノ要項ハ前項ト略同様ナルモ更ニ左ノ諸點ヲ明示セリ

- 1 貸付ハ英國人又ハ英國商社カ英國品ヲ輸出スル場合ニ限ルコト
- 2 特殊ノ危險アル場合ニハ政府ニ於テ保險ヲモ營ミ得ルコト
- 3 信用ヲ附與スル政府ノ權限ハ一九一九年九月八日ヨリ向フ三ケ年ニ限り行使シ得ルコト
- 4 貸付金ハ一九一九年九月八日ヨリ六ケ年内ニ償還セララルルヲ要ス

(三) 一九二〇年十月二十五日及十二月十六日付ヲ以テ商務省ハ左記要項ノ布告ヲ發セリ

- 1 貸付ノ限度ヲ ceiling 價格ニ依ル全額ニ擴張スルコト
- 2 輸出仕向國名ノ二三ヲ追加セルコト
- 3 貸付ヲ受ケ得ル輸出商品中ニ羊毛類ヲ加ヘタルコト

(四) 一九二一年七月二十八日海外貿易(信用及保險)修正法 (Amendment Act) ナ公布シ左ノ要項ヲ規定セリ

- 1 手形ニ對スル從來ノ前貸制度ノ外ニ新ニ保證ヲ行ヒ得ル權限ヲ當局ニ與ヘタルコト
- 2 保證附與ノ權限ハ更新ノ場合ヲ除キ一九二二年九月八日迄之ヲ行使シ得ルコト
- 3 保證ヲ更新スルノ權限ハ一九二四年九月八日迄トシ如何ナル保證ト雖モ一九二五年九月九日以後ハ有效ニ存積

スルヲ得サルコト

(五) 一九二一年十一月十日商業助成法 (Trade Facilities Act) ナ公布シ同法中ニ海外貿易法ヲ修正スルノ項ヲ設

ケシタメ右兩法ハ形式上茲ニ合體スルニ至リシモ其ノ内容ハ二者尙各別ニ存積セリ而テ海外貿易法改正ノ主點ハ

- 1 貨物ノ輸出先ニ關スル制限ヲ緩和シ
- 2 一九二〇年法中附與信用ノ償還期限及一九二一年法中保證ノ有效存積期間ヲ各各二ケ年延長シ(之レニ依リ兩者ノ期限ハ共ニ一九二七年九月八日迄トナレリ)此ノ期間ニ於テ保證ノ更新ヲ行ヒ得ルコトトセリ

(六) 一九二一年十一月ニ及ヒ商務省ハ布告ヲ發表シテ本制度ニ改革ヲ加ヘ且詳細ナル手續ヲ規定セリ要領左ノ如

シ

- 1 英領印度、錫蘭、海峽殖民地及露國ヲ除ク外世界各地ニ對スル輸出ニ適用スルコト
- 2 輸出業者ハ其取引銀行ヲ通シテ保證ノ申請ヲナスコト
- 3 保證ハ之ヲ概括的信用及個別的信用ノ二種ニ分ツ

概括的信用トハ豫メ期間及總金額ヲ定メテ概括的ノ許可ヲ受ケ置キ其ノ範圍内ニテ振出シタル手形ハ隨時保證セララルモノナリ

又個別的信用トハ手形振出ノ都度出願シテ許可ヲ要スルモノナリ

- 4 概括的信用ノ附與ハ六ヶ月以内ニ限り且保證ハ手形ノ全金額以内トス
- 5 個別的信用ノ附與ハ一ケ年以内ニ限り且保證ノ限度ハ手形金額ノ八割五分以内トス
- 5 金融業者カ輸出業者トノ取引ニ因リ蒙ル損害ノ七割迄ヲ政府ニ於テ補償スルコト

- (七) 一九二四年三月十五日改正公布セラレタル商業助成法ニ依リ海外貿易法ノ保證期間ヲ左ノ如ク更ニ延長セリ
- 1 新保證附與ノ權限ハ一九二六年九月八日迄之ヲ行使シ得ルコト
 - 2 各保證ノ有效存續期間ハ一九三〇年九月八日迄トシ此ノ期限内ニ於テ更新ヲ行ヒ得ルコト

(乙) 商業助成法

- (一) 既記ノ如ク英國政府ハ一九一九年以來海外貿易法ニ依リ輸出貿易ノ助長獎勵ヲ策シ來リシカ内外市場ニ於ケル英國品ノ需要ヲ喚起シ沈滞セル國內商工業ノ繁榮ヲ圖リ併テ失業ヲ緩和スルタメニハ未タ不十分ノ憾アリシヲ以テ一九二二年十一月十日更ニ商業助成法 (Trade Facilities Act) ヲ發布シ專ラ資本的企業ニ對シ其ノ公社債發行ノ場合ニ於テ政府カ之ヲ保證スルノ制度ヲ樹ツルニ至リタリ其ノ要點左ノ如シ
- 1 資本的企業ヲ經營スルカタメ又ハ此等事業ノ必要トスル軍需品以外ノ英國生産品ヲ購入スル目的ヲ以テ政府、公共團體又ハ會社若ハ其他ノ私人團體カ國內又ハ國外ニ於テ公社債ノ募集ヲ行ヒ且該起債カ英國内勞力ノ需要ヲ増進スルモノト認メラルル時ハ大藏大臣ハ右公社債ノ元利金ノ支拂ヲ保證シ得ルコト
 - 2 保證總額ハ金二千五百萬磅ヲ超ユルヲ得サルコト
 - 3 保證ハ本法實施後一ケ年内ニ限り之ヲ行ヒ得ルコト
- (二) 前記商業助成法ヲ修正シ併テ埃及及スーダン政府公債ノ保證ニ關スル權限ヲ政府ニ與フルカタメ一九二二年十二月十五日商業助成及公債保證法 (Trade Facilities and Loans Guarantee Act) ヲ公布セリ要項次ノ如シ
- 1 保證總額ヲ倍額五千萬磅ニ引上ク
 - 2 保證ノ實施期間ヲ一ケ年延長ス(即チ一九二三年十一月十日迄)

3 埃及利ノ復興及スーダン地方灌溉事業ノタメ埃及及スーダン政府ノ起債ニ對スル保證ニ就キ規定ス

(三) 一九二四年三月十五日更ニ改正法 (Trade Facilities Act, 1924) ヲ發布シテ

- 1 保證總額ヲ再度増加シ六千萬磅ニ改メ
- 2 保證ノ實施期間ヲ一九二五年三月三十一日迄延長セリ

(四) 一九二五年三月二十七日三度修正法ヲ公布シ

- 1 保證總額ヲ七千萬磅ニ増加シ
- 2 保證實施期間ヲ一ケ年延長シ一九二六年三月三十一日限リトセリ

之ヲ要スルニ海外貿易法ハ一九二一年十一月商業助成法ノ發布ト同時ニ之ニ合體セル形式トナリシモ其實體ハ尙各別ニ存續セリ而テ商業助成法ノ内容ハ創始以來公社債ノ保證ノミニ限ラレ只保證ノ總額並ニ實施ノ期限ヲ逐次改定セルノミニ留マルカ故ニ極メテ明白ナルモ海外貿易法ノ内容ニ至リテハ屢次頻々タル修正ニ依リテ著シク變更セラレ當初ノ前貸金制度ノ如キハ既ニ一九二二年九月限廢止セラレ且其細目ニモ多大ノ改正ヲ加ヘラレ現在ニ於テハ專ラ手形ノ保證ノミヲ左記要項ニ依リテ實施セルナリ

- 1 保證ハ武器、彈藥以外ノ商品ニシテ且英本國內ニ於テ生産又ハ加工セラレタル物ニ對シテノミ之ヲ行フ
- 2 出願者ハ英國人又ハ英國商社ニ限ルコト
- 3 輸出先ハ英領印度、錫蘭、海峽植民地及露國ヲ除外ス
- 4 保證總額ハ二千六百萬磅以内トス
- 5 各手形ニ對スル保證ノ限度ハ概括的信用(既記一九二二年十一月ノ布告參照)ノ場合ニ在リテハ手形ノ全額又個

別の信用ノ場合ニ在リテハ手形金額ノ八割五分以内トス

六 保證ノ期間ハ概括的信用ノ場合ニ在リテハ六ヶ月個別的信用ノ場合ニ在リテハ十二ヶ月ヲ超ユルコトヲ得ス但前者ニ在リテハ一回ノ更新ヲ許可スルコトアリ

七 新ニ保證ヲ附與スル政府ノ權限ハ一九二六年九月八日迄之ヲ行使スルコトヲ得

八 各保證ノ有效存續期間ハ一九三〇年九月八日迄トシ此ノ期間内ニ於テ更新ヲ行フコトヲ得

(大正十五年四月末於東京)

追記

本稿ヲ了ルニ際シ偶在英國若松商務書記官ヨリ左ノ如キ報告ニ接ス、之ニ據レハ海外貿易法ハ更ニ三ヶ年、商業助成法ハ更ニ一ヶ年各其ノ實施期間ヲ延長セラレ又商業助成法ハ愈明一九二七年三月三十一日限り新保證ニ關スル政府ノ權限行使ヲ停止スルニ決シタルモノノ如シ

(一) 一九二六年二月十日附報告書

『二月九日公表セラレタルバリーアメンタリー、ペーパーニ依レハ貿易促進法施行期間ハ本年三月三十一日終了ノ筈ナルカ更ニ之ヲ明年三月三十一日迄延長スルト共ニ本年內貿易促進上民間起債元利金保證總金額ハ七千萬磅ト計上サレタルモ年度末迄ニハ五百萬磅ノ未保證金ヲ生スヘキ模様ナルヲ以テ來年ハ此ノ未保證金ヲ加ヘ合計七千五百萬磅トナスコトニ決定セララルヘシ

尙オヴァーシース、トレード、アクト一九二〇—二四ニ(中略)依ル保證ハ一九二六年九月八日迄同法ノ效力ハ一九三〇年九月八日迄ナルモ更ニ右期間ヲ各三年延長シテ前者ヲ一九二九年九月八日後者ヲ一九三三年九月八

日迄トスルコトニ變更セララルヘキ豫定ナリ』

(二) 四月二十八日着電

『二十六日英國大藏大臣ハ議會ニ於テ豫算演說ヲナセルカ其內産業及貿易ニ關係アル點ヲ學クレハ左ノ如シ

1 貿易促進法ハ明年失效スヘキカ政府ハ更新ノ意思ナク

(中略)

右豫算ニ對スル實業界方面ノ態度ハ大體ニ於テ樂觀的ニシテ(中略)貿易促進法ノ廢止ハ當業者ニ對スル公平ナル處置ナリトシ(後略)云々』

(商工事務官 松居吉應調査)

524

471

終